

ぶく なが りょう こ  
福永涼子さん

株式会社日本政策金融公庫熊本支店  
国民生活事業融資第二課長

PROFILE

1958年鹿児島生まれ。夫と2人の息子の4人家族。熊本に単身赴任して4年。



家族も、自分自身も、  
「私が仕事をする事」が  
当たり前

株式会社日本政策金融公庫  
熊本支店

熊本市中央区安政町 4-22  
TEL : 096-353-6182  
URL : <http://www.jfc.go.jp>

2010年	1987年	1984年	1981年	1979年
熊本支店転勤	第2子出産	第1子出産	結婚	国民生活金融公庫(現 日本政策金融公庫)鹿児島支店入庫

輝きの軌跡

福永涼子さんの  
キャリアストーリー



—お仕事の内容について教えてください。

福永 日本政策金融公庫は、国の政策と事業者を金融でつなぐ役目を担っています。さまざまな融資策がある中で、私は個人や小企業を対象に融資を行う国民生活事業に所属しています。融資のご相談や審査、創業セミナーや、相談会などの営業活動を行っています。

—結婚された時に退社という選択がありましたか。

福永 寿退社するつもりでしたが、入庫した時に父親と「最低5年は仕事を続けて勤め先の役に立つように」と約束をしていたので、子どもが生まれるまではとと思って続けました。5年後に出産した時は、産休後に辞めるつもりでした。ずい分と悩みましたが「辞めるのはいつでもできる。やるだけやってみよう」と思い直し、仕事を続ける選択をしました。大変でしたが、職場と家族・実家のサポートで乗り切ることができました。2人目の出産の時は、もう辞めることは考えませんでした。それからずっと仕事と家事・育児を何とか両立してきました。

—単身赴任中と伺っています。家族の反対はありませんでしたか。

福永 これまでも転勤の話はあったのですが、家庭と子どもの教育のため、とお断りしていました。ただ2人の子どもが成人し、家を出たので断る理由もなくなり、また、転勤も経験してみようと思い決断しました。家族の反対はありませんでした。家族にも、私自身も、「私が仕事をする事」は当たり前になっていたのかもしれませんが。—就活を控える女子学生にアドバイスをお願いします。

福永 仕事が合うかではなく、まずはやってみることが大切です。どの仕事にも、大変なことは必ずありますが、壁を乗り越えることで仕事のやりがいが見えてくることもあります。一度壁を乗り越えれば、コツもつかめるし、乗り越えられる壁かどうか見極めることもできるようになります。そして、頑張っていると自然と周りの人が助けてくれるんですよ。

最近、各事業所で女性が仕事を続けるためのさまざまな支援策の導入に力を入れています。就活の際にはそういった面も確認すると、長く働けるかもしれませんね。

